

2026年6月17日

しまなみ信用金庫

各 位

当金庫の2025年度決算の概要等について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜わり、厚くお礼申し上げます。
さて、標記の件につきまして、下記のとおり、お知らせいたします。

敬具

記

1. 2025年度（第82期）決算の概要

(1) 収益等の状況

(単位：百万円、%、ポイント)

	2024年度	2025年度	前期比増減
経常収益	4,510	6,876	2,366
経常費用	3,958	6,097	2,138
経常利益	552	779	227
当期純利益	531	795	263
実質業務純益	660	△377	△1,037
コア業務純益	881	936	54
自己資本比率	9.97	7.89	△2.08

経常収益は、金利の上昇による資金運用収益の増加に加え、保有する有価証券の売却益、事業再生を目的とした債権譲渡による債権売却益、貸出先の業況改善による貸倒引当金戻入益を計上したことから、前期比23億66百万円増加（同比+52.45%）の68億76百万円となり、2期ぶりの増収となりました。

経常費用は、金利上昇に伴う資金調達費用の増加に加え、将来の金利上昇への備えとして低クーポンの長期国債等の売却を行い債券売却損を計上したことや、時価が下落した保有債券の減損損失を計上したことから、前期比21億38百万円増加（同比+54.03%）の60億97百万円となりました。

その結果、経常利益は、前期比2億27百万円増加（同比+41.09%）の7億79百万円となり、当期純利益は、前期比2億63百万円増加（同比+49.62%）の7億95百万円となり、2期ぶりの増益となりました。

実質業務純益は、金利上昇リスク削減のため国債等の売却損等を計上した影響により、3億77百万円の赤字となりましたが、本業の儲けを示すコア業務純益は、前期比54百万円増加（同比+6.21%）の9億36百万円となり、6期連続の増加となりました。

また、自己資本比率は、信金中央金庫より支援を受けていた優先出資30億円の返還を計画通り行った影響により、7.89%と前期比2.08ポイントの低下となりました。

(2) 主要科目残高の状況

預 金	3,775 億円	(前期比 9 億円増加)
貸出金	1,592 億円	(前期比 15 億円増加)

預金は、物価高等による消費支出の増加や相続による流出等により、個人の流動性残高は減少しましたが、定期性預金は未来応援定期預金やプレミアム定期預金の販売より増加した結果、期末残高は 3,775 億円（前期比+0.25%）となりました。

貸出金は、設備投資や不動産関連融資への取組みによる事業性融資の増加や、個人向け貸出の増加により、期末残高は 1,592 億円（前期比+1.01%）となりました。

(3) 金融再生法開示債権の状況

不良債権総額	94 億円	(前期比 19 億円減少)
不良債権比率	5.94%	(前期比 1.30 ポイント改善)

金融再生法における不良債権額については、前期比 19 億円減少の 94 億円となりました。また、不良債権比率（金融再生法ベース）は 5.94%となり、前期比 1.30 ポイント改善しました。

(4) 2026 年度（第 83 期）における収益見込み

経 常 収 益	57 億円	(前期比 11 億円減少)
当期純利益	5 億円	(前期比 2 億円減少)

2026 年度につきましては、2025 年度に計上した一過性の債券売買関係損益、貸倒引当金関係損益等の影響が除外され、経常収益は 57 億円、当期純利益は 5 億円と減収減益を見込んでいます。

以 上

本件に関するお問い合わせは、
しまなみ信用金庫 企画・運用部
TEL0848-62-7143 （担当：林、泉）までお願いいたします。